

み光のもと

第335号 2023年
令和5年4月27日
法福寺 宗玄寺

3月25日から始まった親鸞聖人ご生誕850年、立教開宗800年慶讃法要に先日個人でお参りしてきました。

堂内が一体となり勤まった「正信偈」本山にお参りできたことに感動いたしました。

5月 ・ 6月のご案内

法福寺	宗玄寺
5/27(土) お速夜法要 19:30	5/8(月) 花祭り法要 14:00
6/27(火) お速夜法要 19:30	5/28(日) ご命日の集い 19:30
	6/12(月) 門徒研修会 14:00
	6/28(水) ご命日の集い 19:30

○5月8日は花祭り

今から2500年ほど前に、インドの国でお釈迦様はお生まれになりました。それは4月8日の日でした。ご誕生のお祝いをするのが「花祭り」です。丹波では昔からひと月遅れの5月8日に花祭りを行います。お釈迦さまの誕生を祝って野の花も一斉に咲き、天から甘い雨が降ったと表現されています。それにちなんで甘茶を誕生仏にかけます。

花祭り法要 14:00

花折りは 酒井勲さん 梅崎美代子さん 松本孝子さんです。ご家族の方もこの仏縁にお会いしましょう。

準備は小餅1升50個(油井)

大福堂 ☎0120-010453

茶菓子(古市)

当日の準備は役員・年行事さん9時

油井の年行事4月より 酒井光義さん・赤井政明さん

慶讃法要のご縁にあう

阿弥陀堂と御影堂の二つの御堂で同時に法要が勤まりました。全席椅子で指定席となっていたのですが飛び入りの私は自由席を案内されました。後ろでもライブ配信の画面でよくみえました。

ご影堂では親鸞さんに出会え、一昔まえ息子と共に得度した時の情景を思い出し自分と再会することができました。

二年ほど前から足が痛くかばいながら歩いていましたが、丁度痛みもなく歩けたのはラッキーでした。行きたい所は元気なうちに行きましょう。

仏花展が地下のロビーにありました。青森、高田教区、三重、京都、大阪から長年仏花の活動をされている花講、僧侶、坊守の有志の方々の出品、大方は池坊の立華形式になっていました。

3月末～4月29日間と期間が長く管理も大変だったでしょう。

「仏花はご本尊にお供えするものだから必ずしも生け花の立華のようにしないとイケないとか制約はないんです。自由にたてたらいいです」と僧侶の方が言われたと、出品された吉野なおみさんが新聞にかいておられます。

聖人得度の剃刀(ていとう)

親鸞聖人の9歳の春、青蓮院で得度されたお剃刀が展示されていました。残っているのが不思議ですね。

東井義雄先生のお寺(東光寺)へ行ってきました!

よく法話で登場する東井義雄先生の詩おぼえていますか?

住職と豊岡のお寺へ行きました。近道の山越えで道中不安な所もありましたが、とても景色の美しい山や畑が広がり、のどかな村でした。この道を自転車で乗って学校へ通われたんだなど、想像しました。寺には息子の奥さんが一人おられました。息子さんは勝彦住職と竜大の同級生でした。小学校の勤務で体育の時間に倒れ、15年間闘病生活の後亡くなりました。義雄先生も奥さんも、苦勞されたことでしょう。

記念館に立ち寄り本をたくさん買って帰りました。

奥さんは三田の方と聞いて身近に感じました。